

---

01-02 真樹ナビvol.01 ダンサー森下真樹、春日井に初上陸

---

03-05 特集“シワス”の楽しみ 高木正勝さんの、映像と音楽

---

06 人形劇を楽しもう!

---

07-08 FOCUS 歌舞伎 / 自分史フェスタ

---

09-10 SERIES 映画・講座・音楽

---

11 Pick Up 素朴な画家たち vol.4

---

12 COMING SOON!

---

13 voice お客さまの声、から

---

14 最近、こんな読んでます / information from PiPi







奇想天外♪ 森下チキチキ真樹バンバン〜 奇想天外♪ 森下チキチキ真樹バンバン〜 奇想天外♪ 森下チキチキ真樹バンバン〜

さあこれから、何がおこりましようか。春日井探検から生まれる、彼女のダンス。

# ダンサー 森下真樹、春日井に初上陸。



マムシ看板

ハニワ

踊る、森下真樹

ハニワ

マムシに注意も、なんのその!? ハニワが並ぶ、市内の「ふれあい緑道」で、はい、ポーズ。森下さん、ハニワと何するんですか〜…!

## 第一弾の春日井探検はここから!



手前の緑のサボテンを見て、一言。「東京の人混みみたい…」



「サボテンって何から自分を守っているの…?」

春日井といえばサボテン! 森下さんと一緒に桃山町の後藤サボテン園にお邪魔しました。大きなビニールハウスの中に所狭しと並ぶサボテンたち。大小様々なサボテンをじっと見つめる森下さんいわく「どれもホントに個性的! ひとつひとつ全部違うんですね」と、興味しんしんのご様子。一番のお気に入り、白い綿毛をまとったサボテンちゃん! 自ら鉢植えも作り、もちろんお持ち帰りされました。

ダンス公演の会場となる、文化フォーラム春日井を下見。いろんなアイデアが続出!! ホールを熟知したスタッフと共に、新作の構想を膨らませていきます。



森下真樹さんって、どんな人??



すごい、足あがってますね。

森下さん、なんでダンス始めたんですか?

父が転勤族で、転校先の小学校で早くみんなに馴染もうと、オリジナルの遊びを考えて披露していました。自己流の手話みたいなもの? 昔から喋るときにジェスチャーが多くて、踊っているみたい、とも言われてましたね。高校生になって創作ダンス部に入部。全国大会の常連校だったので、練習は厳しく全く自由がありませんでした。型にはまったダンスに違和感を感じて、自分らしいダンスを探しているうちに、今のスタイルにたどり着いたんです。

聞き間違いならごめんなさい

なんか、ダンスしながら歌ってませんか?

歌っていますし、セリフを発したりもしますよ。これは「声も身体の一部」と考えて作品づくりをしているから。ひとり芝居のようだとされることもありますね。作品の冒頭に「森下チキチキ真樹バンバン〜」と言いながら踊る作品があるのですが、これは、子どもの頃にそ言いながら踊っている自分の姿を、ビデオで観たのがきっかけ。ひょんなことから、自分のダンスのルーツをみつめることができました(笑)。

時にはお客さんに直接喋りかけたりもしますから、私の公演を観にきたら、油断してちゃだめですよ〜!



ジャズの名曲をノリノリで歌いまくる! 転がったり、セクシーに決めたり、シャウトしたり…。森下ワールド全開です! 「デビュタント」より

小耳にはさんだのですが

春日井オリジナルの新作を作られるとか?

はい、楽しみにしてください! うずうず&悶々としている人、集まれ〜!! 「これって、ダンスなの?」っていうくらい、はみ出しているダンスを観て、元気になってもらえたら嬉しいです。



森下さんのダンスは奇想天外で、安心して観ることができず予測不能。枠からはみ出ている“かつこ良さ”ってこと!



ゲー!!

昼食は東野町の「四川」でサボテンラーメン。不思議なとろみに森下さんも思わずゲー! 器もサボテン仕様。

森下さん、次号はどこに出発する? ヒントはもうひとつの春日井名物(予定)。まちで森下さんを見かけたら声をかけてね!

## 第74回かすがい芸術劇場 森下真樹ダンス公演「これって、ダンスなの?」

2012/2/26(日) 18:00~ (開場は30分前)

| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、ほか

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約 12/3(土) 一般発売 12/10(土)~

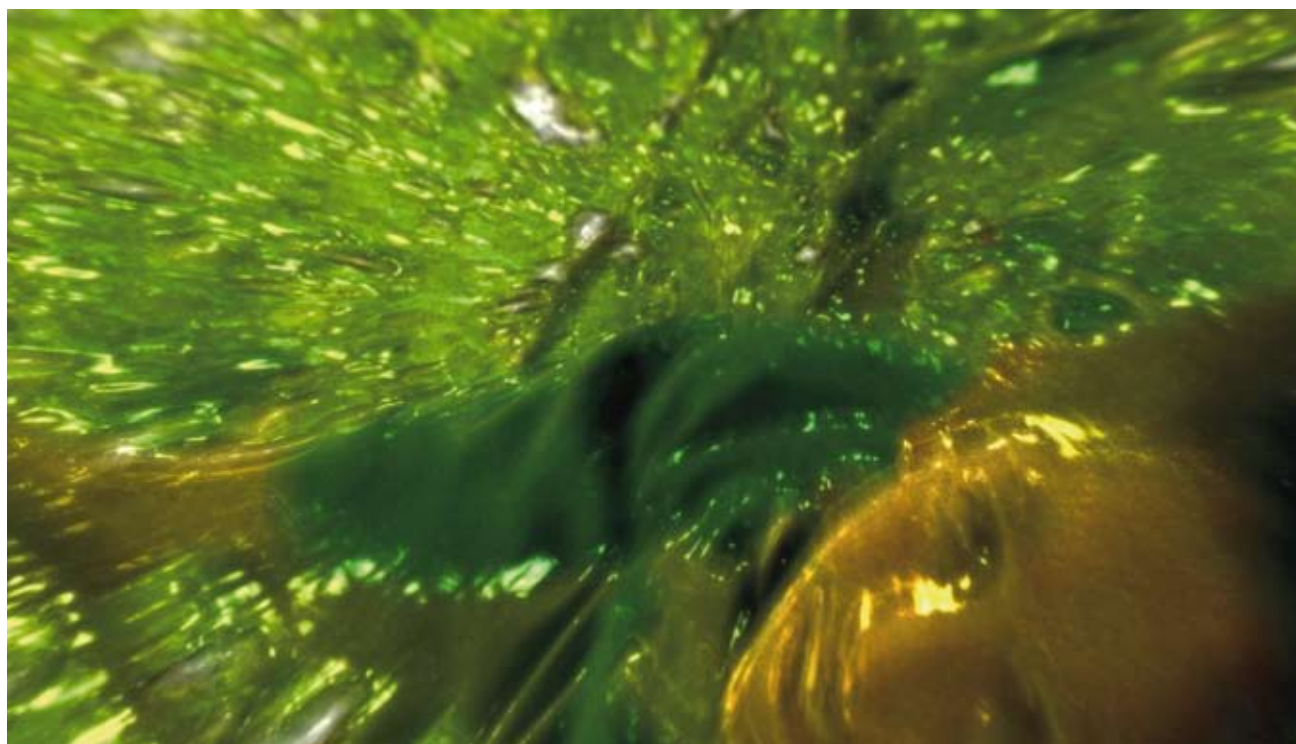
[料金] ¥2,000 PiPi会員¥1,500 全自由席、当日券同額、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、チケットぴあ(Pコード417-180)

[助成] 財団法人地域創造(平成23年度公共ホール現代ダンス活性化支援事業)







Ymene: 1. idu mi (2010)



Ymene: 0. euran (2010)

## 特集 “シワス”の楽しみ 高木正勝さんの、映像と音楽

今年の夏、映像作家／音楽家として活躍する高木正勝さんに、文化フォーラム春日井・交流アトリウムを見に来ていただきました。「大きな空間だねえ」と言いながら、ここそこを見てまわる、高木さん。どんな展示ができるのか、いろんなアイデアをいただきながら、最後に高木さんは「ここにいる人たちが、これから先のことを考えられる展示にしよう」と仰いました。

そして師走、昼は日がさんさんと、夜はひっそりと佇む交流アトリウムに、高木さんの映像と音楽があらわれます。人が行きかう場所で、その場のすべてを許容する展示。さあ、いったいどんな空間になるのでしょうか？

あゆち、とは、昔のあいちの地名のことです。豊かな水にめぐまれた土地、海から吹く幸せの風を意味すると言われています。そんな土地に住まう私たちが、ここで考えること。高木さんの映像と音楽につつまれて。

ゆ  
れ  
て  
む  
す  
ぶ  
あ  
ゆ  
ち

て  
き  
す  
と  
高  
橋  
綾  
子

「音楽」も「映像」も触れることができません。実体のあるモノは(例えば絵画や彫刻も)「在る」ということを誇示してくれるので、たとえうっかり素通りしても、ぶつかったり眼前に差し出されたら、触れて知ることができます。では、音や映像はどうでしょう。それを「時間芸術」だとか難しく言うつもりはありません。私たちが日常生活のなかで何げなく受容しているのが、音や映像なのですから。

音楽家であり映像作家である高木正勝さんの作品と活動を知ったとき、その“触れられない”良さを、音と映像の双方に生かききった、稀有にして豊かなスタンスだなと思いました。ピアノも弾けて作曲もでき、さらにコンピュータで映像もつくれる。デビュー早々にテレビやPVにコンサートなど、商業性の高い仕事もこなす若き高木さんを、“マルチな鬼才”と呼ぶことは容易なことだったでしょう。でもそれは、履歴という文字列からの印象で、作品そのものの内容や作家の言葉をかみしめると、ずいぶん印象が異なってきます。むしろ、不器用なほ

どにシンプルで、真摯な高木さん。

ゆだねるということ。近年、神話や民話への関心を作品に展開させてきたことや、デビューから10年を経た自負もあいまってか、ここにきて俄然、高木さんは冴えています。澄んだ存在として、まるで自らが空洞になって環境にゆだね、交信する媒介者のように。かつて高木さんは、こう語っています。

—「本来、離れているもの、あるいは離れてしまったものをもう一度つなぐ役割が音楽にはある」と。  
たとえば…

タンポポの綿胞子／疎遠になってしまった友だち／川もの落ち葉と星空の夜／おとといの晩の菌ざしり…  
私は、高木さんの音楽を聴きながら、ふ

と、こんなことに思いを馳せます。

厄介にも、人は何かを誰かのせいにするか、自分を責めたりします。「悔いる」という心性は、人間ならではのこともかもしれませんね。でも、離れてしまったことを思うことで、また何かがつながるはず。「悔いる」ではなくて「いとおいしい」という感情に、音楽が作用します。高木さんはきっと、こうしたことを良くわかっているのでしょう。

\* \* \* \* \*  
シワス  
師走の春日井で、高木正勝さんの映像と音楽を。“in あゆち”と添えられたこの企画は「あいちアートプログラム」のなかで紡ぎだされました。文化フォーラム春日井の建物には、大きな、そして小さな空洞があります。フォーラムのス

タッフたちが場の潜在力と自らの感受性に照らしながら立案し、投げかけます。高木さんは果敢にも(?)いや、たおやかに場と人を受けとめるのです。これから(明日)の出来事を。それが、高木流の“ゆだね”であるはずですよ。

高木さんへ…「Ymene(イメネ)」は「夢の根」の造語でしたね。今回の企画では、子どもたちに「夢」や「あゆち」について、絵や歌でお話ししてもらいます。けっして予定調和ではなく、正直に。こころと身体をゆらゆらと。

音をゆらし、像をむすぶ。子どもたちを迎えるスタジオには先生はいません。だから「シワス」はきっと「幸せな明日」と心で読むのです。

(たかはし・あやこ 名古屋芸術大学准教授)



すべて Ymene: 1. idu mi (2010)





## 高木さんの、最近のおしごと

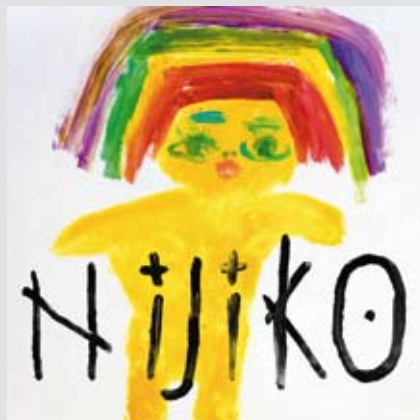
自らの表現活動だけでなく、頼まれた仕事もこなす高木正勝さん。どちらの仕事に対しても高木さんのスタンスは変わりません。ひとつの「作ること」と大切に向き合った結果、見えてくる極点を形にしているのです。だからこそ、関わるどんな仕事にも、高木さん独自の“芯なるもの”が立ち現れてきます。



©Sato Mikawo

### 「Tama Tama」

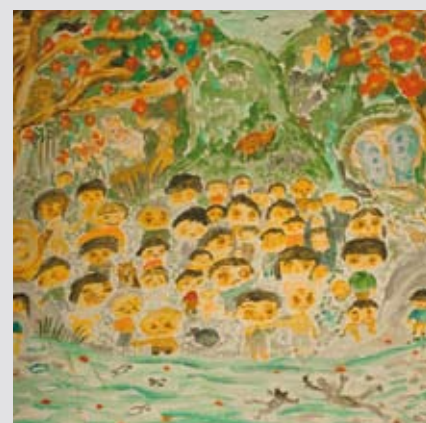
蒼井優主演 映画「たまたま」の劇伴を手掛けました。全編アイルランドロケ敢行、監督と脚本は本作が初の長編作品となる映像作家の小松真弓氏。 <http://www.tamatama-project.com/>  
映画のために書き下ろした楽曲は、iTunesより発売。アイルランドの美しい風景や人々の中で繰り広げられる映画の映像からインスパイアされ、「彼の地の音感やリズム感を参考に」制作したという9曲の新曲。映画では一部しか使われていない楽曲も、あらたにフルバージョンで収録されています。「アルバム」購入特典の電子ブックレットには、「Sione」のピアノ楽譜が掲載。



©Sato Mikawo

### 「インテルのCM音楽」 「Nijiko」

Intel@が公開した、フェイスブックと連携して楽しめる「The Museum of Me」の音楽を手掛けました。  
<http://www.intel.com/museumofme/r/>  
この音楽をミニアルバム「Nijiko」で配信販売。実際に使用されている音楽に加え、バージョン違いの全4曲が楽しめます。12p電子ブックレット付き。



©Sato Mikawo

### 「Niyodo」

NHKドキュメンタリー番組「仁淀川～知られざる青の世界」のために楽曲を制作。(平成23年度文化庁芸術祭にノミネート)  
管弦楽器や合唱を組み込んだテーマ曲など、全11曲を収録したアルバムを、iTunesより発売。アルバム購入特典の電子ブックレットには、「Kaze Kogi」の楽譜が掲載されています。  
「仁淀川を愛おしく想う人、人々。彼らの「想い」を感じ取れるような曲が聴きたい... そう思いながら作曲しました。自分にとってもお気に入りの曲になったこと、とても嬉しく思っています。」高木正勝

## 今回の展示の楽しみかた

会場は通常の展示室ではなく、人が行きかう場所。

ガラス張り、日が降り注ぐオープンな空間に、ひるはモニター上映、よるはガラス面に映像を投影します。そんな場所ですから、少しざわわしているときも、順番を待たなければならぬときもあるかもしれません。



人やものの気配とともにある作品との空間を、どうやってまごころ楽しむか、一緒に探してみましょ。

たかぎ・まさかつ 映像作家 / 音楽家

1979年生まれ、京都在住。CDやDVDのリリース、美術館での展覧会や世界各地でのコンサートなど、分野に限定されない多様な活動を展開している。オリジナル作品制作だけでなく、デヴィッド・シルヴィアンのワールドツアーへの参加、UAやYUKIのミュージック・ビデオの演出や、理化学研究所、Audi、NOKIAとの共同制作など、コラボレーション作品も多数。2009年のNewsweek日本版で、「世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれるなど、世界的な注目を集めるアーティスト。  
<http://www.takagimasakatsu.com>



## あいちトリエンナーレ地域展開事業 あいちアートプログラム 展覧会 高木正勝 in あゆち

12/3(土)～25(日)

| 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料

DAY おひさまさんさん 10:00～日没(17:00ころ)

NIGHT おひさましずんで 17:00ころ～21:00

12/5(月)、12(月)、18(日)、19(月)、22(木)、23(金・祝)はお休み

あなたの絵とうたを集めます。

すたじお 12/3(土)、4(日)、9(金)、10(土)、11(日)、16(金)、17(土)

13:00～日没ころ | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム

すたじおで集めた絵と声をつむいで、うたづくりをします。

うたづくり 12/24(土)、25(日) 14:00～16:00 | 文化フォーラム春日井・ギャラリー

高木さんと一緒に、絵に囲まれたへやで歌ってみましょ。

[参加方法] 干・住所・なまえ・保護者のなまえ・電話番号・性別・年齢を記入の上、ハガキ、FAX、メール(ws7@lib.city.kasugai.aichi.jp)にて申込み。 [定員] 15名(小学校6年生まで) 〆切は12/10(土) (必着)、応募多数の場合は、抽選。観覧のみ可。



人形劇を楽しもう!

## 人形劇団とんとんとんの練習現場に潜入!

今年で結成23年、春日井市内のお母さんたちで活動続ける、人形劇団「とんとんとん」。12月に開催される「かすがい人形劇フェスティバル2011」に向けて、坂下公民館で練習しているところにお邪魔してきました。

### 人形劇ってどうやって作っているんですか?

私たちが年の一つずつ、新しい劇を作っています。年末から3月頃までが台本作り。それから人形を作り始め、夏の終わりから立ち稽古を始めます。なかなか、ハードスケジュールなんです。



人形劇を始めたきっかけは?

人形劇団「むすび座」さんの講座を受けたのが始まり。「人形作りの講座だと思って受講したら、みんなの前で人形劇をすると分かってビックリしたの。人見知りなのに(笑)」。当初は、自分の子どものために人形劇を作ってきましたが、今は地域の子どもたちに楽しんでもらえる創作を心がけているそうです。

お客さまの心に  
トントントンと響く  
人形劇を  
めざしています!



実は、今日が  
はじめての通し稽古。  
12月の公演にむけて  
これから追い込み!!

私たちは年の一つずつ、新しい劇を作っています。年末から3月頃までが台本作り。それから人形を作り始め、夏の終わりから立ち稽古を始めます。なかなか、ハードスケジュールなんです。



人形劇ってどうやって作っているんですか?

私たちが年の一つずつ、新しい劇を作っています。年末から3月頃までが台本作り。それから人形を作り始め、夏の終わりから立ち稽古を始めます。なかなか、ハードスケジュールなんです。



台本、ステージ構成、  
人形作りまで、  
全部手作りです!

### 稽古のポイントは何?

セリフのタイミングや、人形の細やかな動作など、一つひとつ丁寧に確認していきます。短い時間を最大限に使えるよう、準備も手際よく。週1回の練習ですが、1回1回の積み重ねが大切なんです。

自分たちのペースで丁寧に人形劇を組み立てているのも、長年連れ添ったメンバーだからこそ。お互いに助け合いながら楽しく、それぞれの長所をいかして、一つの作品を作り上げている「とんとんとん」さん。今年は、どんな劇を披露してくれるのか、楽しみですね。

今年の新作人形劇  
「ともだちできたよ」  
を見にきてね。



## 14thかすがい人形劇フェスティバル2011

12/11(日) 午前の部10:30～、午後の部14:00～

| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、交流アトリウム

[料金] おとな 各回¥800(当日¥1,000)、一日券¥1,500

こども 各回¥400(当日¥500)、一日券¥700

PiPi会員 上記金額の1割引き

全自由席、3歳未満無料、こども券は3歳以上小学生以下を対象

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、

ローソンチケット(Lコード45786)

[問合せ] 人形劇団バン ☎052-781-7412、さくらぶん ☎0568-91-8152

[主催] 愛知県人形劇協会 / かすがい人形劇フェスティバル実行委員会

[後援] 春日井市 / 春日井市教育委員会

### 当日のプログラムはこちら!!

- 午前の部 10:30～@視聴覚ホール  
とんとんとん「ともだちできたよ」、よろずや〇「4ひきのうさぎ」、ももんが(幕間)「さんまのおふだ」、パン「アリとキリギリス」
- つくって遊ぼうコーナー 12:00～13:30 @交流アトリウム、参加無料
- 午後の部 14:00～@視聴覚ホール  
かんらん「トヨばあさんとネコのシマさん」、じゃん・けん・ぼん「まほうの水」、やまんば(幕間)「11ひきのねことあほうどり」、むすび座「ヤンとロッチのおかしの家」





# 音羽屋あっ!

尾上菊五郎  
尾上菊之助  
の魅力



できすと  
おくだ健太郎



菊之助



菊五郎

歌舞伎は、ここぞという見せ場になると、客席から「〇〇屋あ！」と、声が掛かる——歌舞伎をまだご覧になったことがない方でも、たいてい、このイメージはお持ちのようです。落語のマクラなどにも、この歌舞伎の掛け声(大向う、とも申します)が、よく出てまいります。

そういった場面に、いちばん引き合いに出されるのが、「音羽屋」という屋号です。ちょっと試しに、叫んでみてください。「おとわやあ！」どこかで聞いたことのある響きでしょ？

「お・と・わ・や、だなんて、一つ一つはっきり声にしちゃあ野暮ったくってありゃあしねえ。あたまの『お』は飲みこんで『(お)とわやあっ!』とやるのが

江戸っ子の粹ってもんでえ」  
てな具合に、嘶家さんが、高座で楽しくやっています。

お。と。わ。や。

なるほど、これだと、視力検査か発声練習になっちゃいますね。『お』を飲んで、スパッと歯切れよく「とわやあっ!」か…いろいろとコツがあるんですね、どんな世界にも。

この「音羽屋」こそ、来年の歌舞伎公演に登場する、尾上菊五郎・菊之助父子とその一門の屋号なのです。江戸っ子の粹。本当にその通り。さっぱりと垢抜け

して、さりげない情味と色気があって——今でいうところの「カッコいい」芸風なんですね。お二人に共通のいちばんの魅力です。

「知らざあ言って聞かせやしょう」(弁天小僧)「こいつあ春から縁起がいいわえ」(お嬢吉三)など、悪党のリズミカルな七五調のセリフまわし。「娘道成寺」など、女形の明るいうつくし。東京の国立劇場での、上演が途絶えていた芝居をテンポよく編さんして再生させるとりくみ。そのどれもが、軽やかで自然体です。師匠として、かつ芸のライバルとして、そして信頼し合う父子として、こんにちの歌舞伎をおおいに盛りあげています。



(おくだ・けんたろう 歌舞伎ソムリエ)  
1965年、愛知県生まれ。大学入学で上京後、歌舞伎に出会い熱中、立ち見席に通いつめる。現在、歌舞伎イヤホンガイド解説者。東京工業大学世界文明センターの講師、御園座若臈カブキクラブなどで、歌舞伎の楽しさを伝える活動中。

**松竹大歌舞伎 | 春日井市民会館 (開場は30分前)**  
**2012/7/14(土) 午前の部(予定) 11:30~ / 午後の部(予定) 15:30~**  
[チケット情報]  
●PiPi会員先行予約はがき締切日 3/9(金) (必着)  
※専用はがきは1月末にPiPi会員(会員期限が2/29以降の方のみ)に送付  
●一般電話先行予約日 3/16(金) ●一般発売日(窓口・電話) 3/22(木)~  
[料金] 全席指定、当日券同額、3歳以上有料  
一般 SS席¥7,500、S席¥6,500、A席¥5,500、B席¥4,500、C席¥2,500  
PiPi会員は上記金額の¥500引き

次号 FORUM PRESSでは、おくだ健太郎さんによる演目解説を掲載。演目発表とあわせて、お楽しみに!

## FOCUS 自分史フェスタ

### “食”にまつわる物語を、読み紡ぐ

女優・紺野美沙子のしっとりとした朗読が、あなたの心にそっとそっと、沁み込みます。



歩んできた人生には、その場面ごとに、たくさんの小さな物語があります。自分の思い出や記憶をひもとき、ありのままに記憶した「自分史」には、体験者が記した実話だけが持つ、素朴だけれども力強いメッセージが含まれています。

“食”をテーマに募集し、全国から寄せられた241編の短編ノンフィクション。今年の自分史フェスタでは、力作揃いの作品から、きらりと光った選りす

ぐりの3編を朗読します。

読み手は、女優・紺野美沙子さん。テレビ、舞台でのマルチな活躍が注目を集め、一昨年は向田邦子原作の舞台「きんぎょの夢」の主役として、春日井市民会館のステージにも登場。その演技力で客席を魅了し、好評を博しました。そんな紺野さんがライフワークとして取り組んでいるのが朗読。全国各地で朗読会を主催し、そのしっとりとした爽やかな語りは、まるで心地よい音楽の

ように聴く者に届き、そっとやさしく包み込んでくれます。

トークセッションでは、妻であり、母である、紺野さんの“食”にまつわるエピソードも紹介。誰にとっても身近なテーマである“食”。朗読とトークで綴る今年の自分史フェスタで、心温まるひとときをお過ごしください。



#### 紺野美沙子さんの「朗読座」にいらっしゃいました!

「あなたはだあれ?」8/21(日)@パティオ池鯉鮒 花しょうぶホール

自分史担当 越賀登紀子

物語は自分で読み進めるもの、と思ひ込み、朗読公演には今まで縁がありませんでした。そんな私が、初めて朗読を聴いたのが紺野さんの「朗読座」。やさしく投げかけられる視線、意味深な表情でそっとささやく台詞が、そのとき、その場面の情景をイメージさせ、次の展開に思わずドキドキ。読書とも芝居とも違う臨場感を、初めての朗読で体験することができました。本編後のアフタートークは雰囲気が一変。客席とのかけあいも賑やかで、紺野さんの息子さんの話には、思わず声を出して笑ってしまいました。春日井でのステージが今からとても楽しみです!



「紺野美沙子の朗読座」第1回「スーホの白い馬」@ブラザーホール by イッツコム



#### 春日井市掌編自分史全国公募「食」の風景の審査が行われました。

今年の掌編自分史全国公募には、北は北海道、南は長崎まで。高校生から92歳の方まで241編の力作が寄せられました。応募してくださったみなさま、本当にありがとうございました。さる10/21に審査会を開催し、4人の審査員が本に収録する40編の作品を選びました。ページをめくるときに40人40色の“食の風景”が広がる作品集は、自分史フェスタ会場でも販売します。是非、お読みください。

#### 日本自分史センター Presents 自分史フェスタ vol.13 『食』の風景 ~紺野美沙子が読む、「ごちそうさま」のドラマ~

2012/2/12(日) 13:30~ (開場は30分前) | 春日井市民会館 | 入場無料

[協力] 東海ラジオ放送株式会社 [後援] 春日井市  
※このフェスタは東海ラジオ公開録音イベントです。第一部の模様は、後日放送予定!

執筆の基礎から応用までを学びましょう!

#### 脱・我流の文章術

2012/1/19~3/22の毎週木曜日(全10回)

19:00~20:30 | 文化フォーラム春日井・文化活動室

[料金] ¥4,000 [定員] 20名 [募集期間] 12/28(水) (必着)

[講師] 安藤紀夫(日本自分史センター相談員)



## 2人の“母”への、愛と孤独と

text. 映画担当 小松淳子



正反対の姉妹、  
ミミとジュリア。  
性格が表れた  
服の色にも注目!

「世界でもっとも成功したグループ／アーティスト」として、ギネス世界記録に認定されているビートルズ。そのメンバーのジョン・レノンの若き青春時代を描いたのが、この作品です。

ジョンは幼少時から伯母ミミに育てられました。ある日、実の母が近所に住んでいることを知り、会いに行ってしまう。実母ジュリアは、厳格なミミとは正反対の自由奔放な女性でした。ジョンは彼女に傾倒し、音楽への憧れを募らせます。しかし、ジュリアには新しい家族との生活があり、ジョンの居場所はそこには無く…。

居場所のない自分自身を音楽に見出すように、ジョージ・ハリソン、ポール・マッカートニーとの出会いを経て、ビートルズ結成へと繋がっていきます。映画を見ると、ジョンが曲に込めた2人の“母”へのメッセージに気付くことでしょう。ラストシーンのジョンの背中、誰もが通る青春時代の反抗期の、甘酸っぱくもほろ苦い記憶を思い出させると共に、やがて凶弾に倒れる彼の悲劇を想い、切ない余韻を残します。



かすがい日曜シネマ「**ノーウェアボーイ** ひとりぼっちのあいつ」  
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール (開場は30分前) **R15+**  
2012/ 1/29 (日) ① 10:30 ~ ② 14:00 ~ **6% Point**  
[料金] 一般 ¥900、ペア ¥1,700 (ともに当日 ¥200 増)  
PiPi会員 ¥800、ペア ¥1,500 (ともに当日同額)  
全自由席、上映時間指定 ※この映画は15歳未満のご鑑賞はできません。  
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約  
監督:サム・テイラー＝ウッド イギリス映画 2009年 / 98分 / カラー・日本語字幕

## いい映画、お先に拝見

## 音楽まめマメ知識

### vol.12 パーカッションの技

text. 昼コン & 夜コン担当 大山鋭裕

ティンパニの  
仕組みを考えたのは  
ダ・ヴィンチらしい!



パーカッション (Percussion) は、英語で打撃という意味ですが、音楽では打楽器全般のことを指します。その中でも、張られた膜や皮の振動によって音が鳴る膜鳴楽器 (ドラムなど) と、それ自体が鳴る体鳴楽器 (シンバルなど) に分かれます。

奏法はどれも“打つ”のが基本ですが、中には変わったものもあります。例えば、オーケストラで使われる代表的な打楽器「ティンパニ」。膜も胴も大きく、振動が伝わりやすい楽器です。つまり振動の加え方 (叩き方) 一つで、音に変化しやすいため、この特徴を活かした様々な奏法が考えられました。“手で叩く”“爪で叩く”の他に“マラカスで叩く”“タンブリンを乗せて叩く”といった複合技、“スーパーボールで膜を擦る”という変化技もあります。極めつきは、「奏者がティンパニの中に飛び込む (カーゲル作曲:ティンパニ協奏曲)」なんていう荒技も! ありなのか?!

昼コン & 夜コン | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | **入場無料** 来シーズンの昼コン&夜コンは

12/ 2 (金) 19:00 ~ 夜コン「弾! 打! 吹! 打!」

[出演] 福居由花 (ヴァイオリン)、岡林和歌 (クラリネット)、近藤幹夫 (マリンバ)、田口美郷 (パーカッション)

MUSIC

いろんな美術館の  
コレクションを  
見てまわるのも  
楽しいですよ!



## 世田谷美術館と素朴な画家たち

text. 展覧会 宣伝担当 林祥恵

美術館とは、美術作品を「収集」「保存」し、より多くの方に見ていただく「展示」をする場所です。そのために「収集」「保存」の方針があり、各館それぞれバラエティに富んでいます。

1月から開催する「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」展の出品作は、全て世田谷美術館が「収集」し「保存」している“コレクション”です。1986年に開館した世田谷美術館は、多くの文化人が住む地域性から、世田谷ゆかりの作家の作品を多く収集しています。さらに、地域住民にとって最も身近に感じられるアートを提供しようと、素人や子どもの表現に通じる「素朴派」の作品を収集してきました。別の職業に就きながらも、人生の一部として描いた素朴派の画家たち。人は常に表現を欲していると考えれば、親しみが湧いてきます。

遠藤さんのスライドレクチャーでは、長年にわたり素朴派の研究を続けてきたからこそ、様々な作品鑑賞のヒントを得ることができます。遠藤さんの言葉を手がかりに、今を生きる私たちにとっての“素朴な”表現を考えてみたいものです。



展覧会 世田谷美術館コレクションによる  
**アンリ・ルソーと素朴な画家たち**  
いきること えがくこと → 展覧会詳細については11pをご覧ください。  
-----  
関連イベント **オープニング記念講演**  
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール | **入場無料**  
2012/ 1/22 (日) 14:00 ~ 15:30  
[講師] 遠藤望 (世田谷美術館 企画担当課長)

## 背景を、知る

## ちかくの、芸術

### 自分で絵具を作る、画家セラフィーンヌ

text. 芸術講座担当 村木莉乃

セラフィーンヌの  
絵画と映画が  
同時に  
楽しめます!



配給:アルシネテラン ©TS Productions/France 3 Cinema/Climax Films/RTBF 2008

パリ郊外の町で使用人として働きながら、制作し続けたセラフィーンヌ・ルイ。偶然にも雇い主であった、美術批評家ウーデに見出され、“サンリスのセラフィーンヌ”として知られるようになりました。個展の開催が実現に近づきますが、世界恐慌により、人生の歯車が狂いだしてしまいます。

映画『セラフィーンヌの庭』の魅力は、絵画だけではわからない制作風景が、リアルに再現されているところにあります。貧しい彼女は、白の絵具だけを購入し、緑色は河原の草、茶色は泥などで作っています。暗い中、絵具を指につけ板に描くシーンは、何でも物が揃う世の中で育った私にとって、驚きと共に強く印象に残りました。「描きたい」という本能で制作する彼女の姿と作品をスクリーンで、展覧会でご堪能ください。

芸術講座 **聖なる心の画家たちとそれを見つめた眼差し** | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール (開場は30分前) **3% Point**

[第1回] レクチャー **宿命の画天使—山下清物語—** 2012/ 1/28 (土) 14:00 ~ [講師] 三頭谷鷹史 (名古屋造形大学教授)

[第2回] 映画 **セラフィーンヌの庭** 2/4 (土) ① 10:00 ~ ② 14:00 ~

[第3回] レクチャー **パリに咲いた友情と芸術—ルソーとピカソと仲間たち** 2/18 (土) 14:00 ~ [講師] 江本菜穂子 (名古屋造形大学教授)

[料金] 一般 通し券 ¥2,500、各回 ¥900 PiPi会員 通し券 ¥2,200、各回 ¥800 全自由席、当日券同額、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、春日井市東部市民センター

※サンリス:フランス・パリ郊外の都市

LECTURE



谷内 六郎 《動物たち》 text. 展覧会担当 鳥羽都子

「こちらを見て♪」と指揮棒を振る子トラ、「音楽会をやっているよ!」と子どもたちを案内するウサギ。虹がかかる丘には蒸気機関車が走り、池のアヒルたちは軽快な音色にひかれ寄ってきます。見ているこちらにも、ペンギンや子狐たちと共に、若草色に芽吹く梢の間からそと耳をすませているような、そんな幸せな気分になりませんか?

この絵の作者・谷内六郎は、昭和31年の創刊号から25年間、『週刊新潮』の表紙絵を描きました。「週刊新潮は明日発売でえーす」という子どもの声で流れるCMが、ノスタルジックな絵柄とともに記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。

絵をもう一度見てみましょう。人間と動物の子どもたちの音楽会を描いたこの絵、実は、谷内が住んでいた世田谷区が「保育園に壁画を」と依頼した原画なのです。ほのぼのとした雰囲気、保育園

児の中には壁画に頬をつけ、絵の中の動物に話しかける子もいたと言います。

谷内は持病の喘息のため、幼少時から30代半ばまで入退院を繰り返しました。病床で過ごすことが多かったのも、彼のナイーブな感性に影響していると思われます。数多い『週刊新潮』の表紙絵の中には郷愁を誘うものだけでなく、不安や恐怖を潜ませた作品もありました。この童話の挿絵のような作品の中にも、ひそやかな情感や深みを感じさせるところに谷内独自の画風があると言えるでしょう。

ミリ単位の細かなタッチがモザイク壁画に合っていたのでしょうか、谷内原画による壁画は、青山、八王子、静岡などの書店や新潮社の別館などの壁を飾りました。谷内は「毎日ぼくの絵を見たらうんだ」といって、壁画の仕事を誇りにしていたと伝えられています。



1979年 水彩・紙、27.4×65.3cm 世田谷美術館

谷内六郎ってどんな人?

大正10年、9人兄弟の六男として東京都豊多摩郡(後の恵比寿)に生まれる。昭和2年、田園風景の残る世田谷に移る。17、8歳の頃、山下清の貼絵に感銘を受ける。昭和27年、兄が経営するろうけつ染工房「らくだ工房」で染色に関わる。昭和31年より『週刊新潮』の表紙絵を担当。当初は健康への不安から「続ける自信がない」と消極的だったが、次第にファンレターの数も多くなり、情熱も湧いてきたという。昭和56年、急性心不全のため死去。享年59。

世田谷美術館コレクションによる  
アンリ・ルソーと素朴な画家たち  
いきること えがくこと

2012/1/21(土)～3/18(日) 9:30～17:00

全曜日のみ20:00まで(入場は30分前まで) 月曜休館

文化フォーラム春日井・ギャラリー



[チケット情報] PiPi会員電話先行予約 11/24(木)～30(水)、一般発売 12/1(木)～

[料金] 一般 ¥500、PiPi会員・前売・学生(高校生以上)・団体(20名以上) ¥400

中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名 無料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、春日井市東部市民センター、チケットぴあ(Pコード764-873)

「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」 美×食スペシャルランチ、ご賞味あれ!



(美術グループ 丸山和代)

JR勝川駅前のホテルプラザ勝川 洋食料理長の大鹿裕司さんによる、名画をモチーフにしたオリジナルメニューが登場します!

ホテルプラザ勝川 カフェレストラン ソレイユ

2012/1/21(土)～3/18(日)11:30～14:30(ラストオーダー 14:00)

オードブル・スープ・メインディッシュ・デザート・パン・コーヒー

シェフによる料理紹介はP14にて。

1日限定10食 ¥2,800(サービス料・税金込み)

☆スペシャルランチをご注文の方に、展覧会「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」の関連グッズをプレゼント!

財団からの  
お知らせ

**FORUM PRESS**

「フォーラムプレス」は  
隔月27日頃の発行です。

COMING SOON! >>>



邦楽器界を牽引する二大貴公子、  
上妻宏光と藤原道山 夢の共演!

古典からオリジナル曲まで、和と洋が融合するスペシャル公演を開催。

上妻宏光 藤原道山 Concert“和心伝心”  
2012/3/10(土) 18:00～(開場は45分前)  
@春日井市民会館

[チケット情報] 一般発売 12/10(土)～  
PiPi会員電話先行予約 12/3(土)～6(火)  
チケットぴあ特別電話先行予約 12/7(水)  
tel.0570-02-9511(10:00～24:00)

¥4,000、PiPi会員¥3,500  
全席指定、当日券同額、未就学児不可



優しい津軽弁と美しい歌声で  
民謡・童謡・歌謡曲を楽しむ

世代を超えジャンルを超え、さまざまな音楽のあたたかさを伝えてくれる、ボーカル&ピアノユニット サエラ。ママさんコーラスで知り合った2人は、50代でメジャーデビュー。その美しく癒される歌声を、ぜひお聴きください。

第73回かすがい芸術劇場  
サエラ ノスタルジックコンサート

12/17(土) 14:00～

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール  
¥2,500 PiPi会員¥2,200  
全自由席、当日券同額、未就学児不可



若手上方落語界のホープ!  
得意な芝居噺を、鳴り物入りで

第22回NHK新人演芸大賞 落語部門を受賞した注目の落語家、桂よね吉。老若男女を惹きつける“よね吉ワールド”をお楽しみに。

第75回かすがい芸術劇場

桂よね吉 独演会

2012/4/22(日) 14:00～

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

PiPi会員電話先行予約 1/7(土)～11(水)

一般発売 1/14(土)～

¥2,500、PiPi会員¥2,200

全自由席、当日券同額、未就学児不可



お客さまをもてなす“フロント  
スタッフ”として活動しませんか?

各種公演をサポートするボランティアを募集。チケットもぎりや座席案内など、お客さまをお迎えする大切な仕事です。初心者の方も大歓迎! 月1～2回程度、楽しく活動しましょう。

2012年度 フロントスタッフ募集

募集期間 1/11(水)～31(火)

[活動期間] 2012年4月～2013年3月

[応募方法] 申込書を記入の上、文化フォーラム春日井・事務室まで持参。

[定員] 30名程度(選考結果は2/14(火)までに郵送にて通知)

本日休診

駅前旅館

ニッポン無責任時代

喜劇・女は男のふるさと



喜劇映画の代表作を上映!  
クレージー・キャッツに、森繁久弥

風刺劇に落語ネタ、庶民劇など、さまざまな笑いで見る者を楽しませてきた、日本映画の名作を上映します。懐かしく、そして今なお新鮮な4作品をお楽しみください。

名作シネマ鑑賞会

2012/3/6(火)～8(木)

@春日井市民会館

一般発売 1/7(土)

1作品 ¥500、1日券 ¥1,200、回数券(4枚つづり) ¥1,600

PiPi会員 1作品 ¥450、1日券 ¥1,000、

回数券(4枚つづり) ¥1,300

全自由席、当日券同額、中学生以下無料

	10:00	13:00	15:00
3/6(火)	無責任	本日休診	駅前旅館
3/7(水)	女は男の	無責任	本日休診
3/8(木)	駅前旅館	女は男の	無責任

映画の合間に、ちよっと一息…。  
あったかいお茶と、お菓子はいかがですか?  
春日井の人気お菓子が出張販売。お楽しみに!



**第72回かすがい芸術劇場 松永貴志デビュー 10周年記念ピアノソロコンサート**

10/10 (月・祝) 14:00~16:00 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

●TVで観た10代の松永さんそのままでした。これからどんなキャリアを積まれるのか楽しみなピアニストです。(40代・女性・春日井市) ●音がきらきらと輝いて散っていくような、素敵な時間を過ごすことができました。(30代・女性・春日井市) ●お人柄の表れた、温かくエネルギッシュな素晴らしいコンサートでした。(50代・女性・春日井市) ●本物のジャズに出会えました。楽しかったです。(60代・女性・春日井市)



**春日井まつり前夜祭 30th Anniversary 稲垣潤一アコースティックライブ2011**

10/14 (金) 18:30~20:30 春日井市民会館

●『1969の片想い』、非常に良かったです。(50代・男性・名古屋) ●春日井まつりに稲垣さんが来るなんてー!と、ずっと楽しみにしていました。間近で見られて感激。いろんな懐かしい思い出がこみあげました。また来てください!(30代・女性・春日井市) ●久しぶりのライブ、とても楽しかったです。(50代・女性・半田市) ●稲垣さんを近くで見られて、とても良かったです。(50代・女性・名古屋)



**ゲゲゲの女房**

10/22 (土) 14:00~17:00 春日井市民会館

●役者陣の演技が達者で、面白く拝見しました。まさに水木しげるファミリー、妖怪たちが出てきたのは嬉しい限り。(40代・男性・豊橋市) ●妖怪たちの登場、迫力がありました。水野美紀さんはコミカルな演技もステキ。渡辺徹さんとの掛け合い、面白かったです。(30代・女性・春日井市) ●魂・愛・未来・人の心・信じることの大切さを教えられました。素敵なお芝居ありがとうございました。(60代・男性・蟹江町)



**日本舞踊 弧の会「コノカイズム」**

11/13 (日) 14:00~16:00 春日井市民会館

●皆様イケメンで、とても格好よかったです!日本舞踊に親近感が湧き、リズムも良くて楽しめました。(20代・女性・春日井市) ●力強いおどりや、やさしいおどりがあって、とてもよかったです。(小学2年生・女の子・春日井市) ●素踊り、男性群舞、内面の吐露、改めて日本のおどりの原点・深さに感動。(70代・女性・稲沢市) ●迫力ある内容、各演目の違いがよく解って、非常に楽しめました。(60代・男性・名古屋)



**まだまだクラシックは死なない! | 松本大輔**

シリーズ第4作となる本書は、著者自身が言うように「クラシックを聴きたいという心」に応えるために出版されました。前作同様、クラシック音楽の名曲紹介はもちろんですが、CD通販ショップの店主として、数十年ひたむきにクラシックと向き合ってきた著者の想いが結集した一冊でもあります。軽快な語り口調と随所にちりばめられたユーモアで綴られている本書は、名曲CD紹介のフリをした音楽エッセイ集です。最初の1ページですぐに松本節に惹き込まれること間違いなし。まだまだクラシックは死なないのです!(K.H.)



**パラレル・ヴィジョン  
—20世紀美術とアウトサイダー・アート**

93年、世田谷美術館で開催された「パラレル・ヴィジョン」展。この展覧会は、美術教育を受けず自由に描いたり、精神を患う人など、美術制度の外にいる人の表現が、日本において注目されるきっかけとなりました。本書は展覧会カタログですが、作品図版と12の寄稿が詰まった充実の読み物です。中でも私が注目した作家は、アメリカの原風景を光沢ある色鉛筆で描いたジョセフ・ヨクサム。彼は、人生の後半から独学で描き始めたことにより、「シカゴ・イマジストの“ルソー”」と呼ばれました。お気に入りの作家を見つけるのも、アートへの理解を深める近道です。(M.H.)



**おとぎ話の幻想挿絵 | 海野弘**

19世紀半ばから1930年頃までの「挿絵の黄金期」に活躍した、7人の画家による挿絵を紹介するのが本書。風景や表情をとらえる挿絵からは、喜びや楽しさ、時には恐怖しさが伝わってきます。知らない物語でも、一枚の絵から「どんなお話なんだろう?」と想像がふくらんでいくのです。各作家の画風の違いを見比べたり、「おとぎ話の図像学」で理解を深めたり。大人も子どもも目で楽しめる、色とりどりの世界にうっとり。眺めているだけで物語の世界に飛び込める、とっておきの一冊です。(Y.T.)



**最近、こんなの読んでます**

**STAFF SELECTION  
PLAZA REVIEW**

→ 文化フォーラム春日井・文化情報プラザで閲覧できます。ぜひ、どうぞ。

**information from PiPi**

ルソー、ポーシャン、セラフィヌス。名画より生まれし 3つのオリジナルメニューを食す。

味はもちろん、絵画をモチーフに色彩豊かに、見た目を意識した創作料理に仕上げました。



ホテルプラザ勝川 洋食料理長 大鹿裕司さん

**オードヴル | セラフィヌス・ルイ**  
グゼール(野菜&チーズ入りシチュー)とアチマトとサーモンのファルシ(詰め物)枝に実った果実たち



**メインディッシュ | アンリ・ルソー**  
平目とドライトマト、タブナードのミルフィーユ仕立て クスクス添え 竹炭のソース



**デザート | アンドレ・ポーシャン**  
クレームフランボワーズにサブレ・ノワゼット 薄いショコラのヴェイス(花瓶)



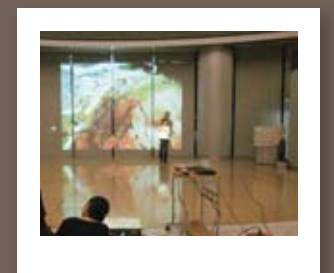
ホテルプラザ勝川 カフェレストラン ソレイユ 松新町1-5 JR中央線勝川駅北口 0568-36-2410 www.theplaza.co.jp

期間・料金などの詳細はP11にて。

**糸編集り筆記**

すべては、試行錯誤の繰り返しから...! みなさんご存じのとおり、文化フォーラム春日井・交流アトリウムは、ガラス張りの大きな空間です。その空間をいかに使い、どう楽しんでもらえるのか、日頃から我々スタッフはアイデアを出しあい、これまでもいろんな試みを行ってきました。12月に交流アトリウムで開催する、高木正勝さん

の映像&音楽上映。これ、実はけっこう無謀な試みなんです。だって、日が降り注ぐ空間での映像展示ですからね...。高木さんのアイデアをうけ、試行錯誤している様子がこちらの写真。できること、できないこと、いろいろありますが、その前にまずはやってみることから。お金はなくても、知恵を絞って、身体を使う。こちらのチャレンジに、心よくのってくれた高木さんに大感謝。さあ、どんな展示になるのか、楽しみに!(A.Y.)





## INFORMATION

## かすがい市民文化財団 主催事業 チケットの電話予約方法

## 1. まずは、お電話ください

## PiPi会員の方 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

## PiPi会員専用 先行予約電話

☎ **0568-85-6078**

※会員電話先行予約日(または期間)のみ、先行予約を受け付けます。  
※先行予約日が会員期間内であれば、先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期間内であれば、割引特典が受けられます。

## 一般のお客様 (受付時間 9:00 ~ 20:00)

## チケット電話予約

☎ **0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

- 全席指定チケットを電話予約される場合は、座席の指定ができません。
- 文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

## 2. チケット受取り方法を選択してください

## A: 文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換ください。お取り置き期間は、予約日から2週間以内です。(PiPi会員先行予約の方は、一般発売日以降となります。)

## B: 代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にて、ご自宅にチケットをお届けいたします。  
チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。  
※チケット代金の他に、代金引換手数料として500円程度をご負担していただきます。

## チケット発売初日の販売時間について

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| ●文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザ 窓口販売       | 9:00 ~  |
| ●かすがい市民文化財団 電話予約(代金引換含む)          | 10:00 ~ |
| ●チケットぴあ/スポット&電話予約(Pコード予約)         | 10:00 ~ |
| /コンビニ(サークルK、サンクス)での直接購入           | 10:00 ~ |
| ●ローソンチケット/電話予約(Lコード予約)&ローソンでの直接購入 | 10:00 ~ |
- ※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

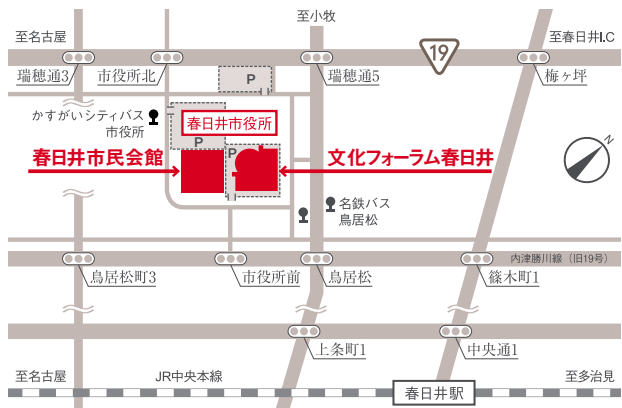
※前売完売の場合、当日券はありません。

※友の会PiPi会員価格でのチケット購入および車イス席の取扱いは、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、および電話予約のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドでの取扱いはありません。)

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館  
<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



- 交通のご案内**
- JR中央本線「春日井駅」北口より  
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分 / 徒歩 北へ約20分 / レンタサイクル(無料)で約5分
  - かすがいシティバスでお越しの方  
「市役所」下車、南へ徒歩2分
- ※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。



厳選素材と手作りの味で新年も。  
ホテルプラザ勝川オリジナル  
**おせち**

和おせち三段重 ¥28,000

日本伝統の味 和おせち  
多彩なあじわい 洋おせち

¥15,000 ~ ご用意してます 予約締切日 12/18(日)

**ホテルプラザ勝川**

Tel. 0568-36-2410 [直通] 050-3531-8312

〒486-0931 春日井市松新町1-5 JR中央線勝川駅北口

"おせち" 特設ページ <http://www.theplaza.co.jp/osechi/>

## 自分史は、読むより書いた方がオモシロイ。

心の中にある、大切な記憶や  
体験を本にしませんか。  
自分史、エッセイ集や  
郷土史、詩歌集、写真集など、  
原稿の内容とご予算にあった  
本作りのお手伝いをします。  
お気軽にご相談ください。

(担当: 小山・寺西)



出版案内進呈します。

**ARM** corporation  
株式会社あるむ  
〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目1-12 第三記念橋ビル3F  
TEL.052-332-0861 FAX.052-332-0862  
E-mail: arm@a.email.ne.jp <http://www.arm-p.co.jp>

## 今までよりも“今”が最高でありたい。

各種イベント・舞台の裏方をプロがサポート  
照明・音響・企画制作・・・なんでもご相談ください。

企画制作 各種演出 照明 音響 ホール管理

**JS**

株式会社ジェイエス  
〒463-0070 名古屋市守山区新守山922番地  
tel.052-795-9331 (10時~18時/平日のみ)  
<http://www.js1979.co.jp>